



おおもとくにみつ  
大本邦光議員

## マイナンバーの活用を

**議員** マイナンバー制度は、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための基盤でもある。本市における交付申請状況と推移をたずねる。

**市長** 本市におけるカードの交付、申請状況は、平成29年10月末時点まで4532件、30年3月末時点で4993件、直近の10月末時点では5608件の交付となつており、対人口比は11・5%で、県内15市では備前市と並んで一位である。今後、交付件数を増やす取組みとして、年金の手続きや扶養の申請手続き、成人式などで普及PR等を引き継ぎしていく。

**議員** 本市におけるコンビニ交付のサービスの利用状況は。



**市民生活部長** 平成29年5月から始まり、29年度は月平均で30~40件の利用があつた。30年度は10月末で月平均が60件以上となつており、普及が進んでいると考える。

また、6月がさまざまな資格の確認時期にあたるため、件数が増えている。こういった時期を捉まえて、PRをしていきたい。

## 快適な窓口サービスを

**議員** 人口減少、少子高齢化の進展に伴い選ばれるまちとなるため、安心し、快適に手続きが行える窓口サービスの取組みをたずねる。

**市長** 総合相談窓口の設置や色付きテープによる案内などを行つており、窓口サービスの見直しが定住促進につながるという意識を持つて、今後も他市などの事例も参考にしながら、引き続きなお一層の窓口サービスの向上に取り組む。

**議員** 今までの説明では、施設の老朽化や財政の圧迫等を理由にしているが、慎重な姿勢をくずさない小学校の統合に比べ、幼稚園・保育所の再編を急ぐ理由は何か。

**議員** 通園の安全、災害に備える避難場所、温かい地域とともに育てる等、子どもたちを第一に考えて悔いのない計画にしてほしい。



にしなふみひで  
仁科文秀議員

## 急ぐ必要があるのか 就学前教育・保育施設再編整備！

**議員** 対象児童の3分の2が通う私立保育園と公立との関係や、国道2号バイパス、美の浜の新興住宅、神島認定こども園の設立など、まだ不確定要素が多い。地域の動向や意見を参考にし、あわてるごとなく将来を見通してしっかりと結論を出すべきではないか。

**市長** パブリックコメントでも、急がずに順次こども園化を進めて欲しいという意見は多い。その点も重く受け止めて、今後のスケジュールを再度組んでいき、平成31年3月までに発表していきたい。

**議員** 設当たり幼稚園で約280万円、保育所で約780万円の削減が見込まれる。ただし、計画の目的は集団での教育・保育がしにくい状況の解消であり、単にコスト削減

は予定していない。運営費は1施

